



2022年1月11日

各 位

会 社 名 ウェルス・マネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 千野 和俊
(コード番号：3772 東証第二部)
問合せ先 取締役専務執行役員経営企画部長 近持 淳
(電話番号 03-6229-2129)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、業績の動向等を踏まえ、2021年11月9日付「2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」および「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しておりました2022年3月期通期の連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期 連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	19,000	5,800	5,500	3,200	375.34
今回発表予想 (B)	27,000	5,800	5,500	3,200	375.34
増減額 (B-A)	8,000	—	—	—	—
増減率 (%)	42.0%	—	—	—	—
(参考) 前期連結実績 (2021年3月期通期)	5,309	△690	△827	△1,059	△124.77

2. 修正の理由

最近の売上動向等を踏まえ、通期の売上高について上方修正を行うものです。

本日2022年1月11日付で開示いたしました「京都東山 Banyan Tree ホテル開発プロジェクトにおける不動産信託受益権譲渡に関するお知らせ」のとおり、当第2四半期連結会計期間に関連会社から連結子会社となった匿名組合りょうぜんが保有する不動産信託受益権の売却により売上が増加する見込みです。

また、ホテル運営事業が属するホテル業界におきましては、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が9月末に一旦解除され、秋の観光シーズンには宿泊需要に回復の兆しが見えておりました。

しかし乍ら、現状の新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みて、政府が再び行動制限を強める事態が生じた場合には、回復の足取りが乱れる懸念がある等、ホテル運営事業の経営環境には未だ不確実性が認められる為、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益等、業績に与える影響について引き続き慎重に見極めを行っておりますので、一先ず据え置きとしております。

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後の様々な要因により変動する可能性があります。

以 上